剣岳から池平山　北方稜線縦走

日程＝8 月 5 日(水)～9 日(日)
メンバー＝M 上・I 崎

7 年ほど前､剣岳からブナクラ乗越まで Y 科さんたち昔からの山仲間と歩いたことがありました。3 泊 4 日の日程でしたが下山口の馬場島に着いたのは深夜になってしまいました。
北方稜線は剣岳の峰々から北に赤谷山、毛勝山、サンナビキ山、駒ヶ岳と続きますが毛勝山以北は藪の細い稜線が続き道もありませんので夏に登るのは毛勝山までが一区切りになりそうです。そこで今回は 4 泊 5 日＋予備日 1 日で毛勝山まで歩いてみようと計画しました。
そもそもは 7 月後半の連休日を想定していましたが今年の長雨で 8 月に入ってしまいました。同行は I 崎さん。もはや高齢者の 2 人で歩くことができるか甚だ疑問です。
前日の 4 日高崎駅で待ち合わせて I 崎さんの車で富山に向かいました。地鉄の立山駅手前の無人駅で仮眠しました。

5 日。普段と違いかなりすいた立山駅からケーブル、バスを乗り継いで快晴の室堂に向かいました。本日は剣山荘までです。
剣山荘に到着して手続きを済ませ部屋に入ると 2 人スペースごとにビニールシートで仕切られ布団にシーツ状の使い捨ての布を上下 2 枚はさんで寝るように言われます。おかげで広いスペースで快適に寝ることができました。

6 日。早朝の暗いうちにお弁当にしてもらった朝食を食べ 4：15 出発しました。I 埼さんはかなり久々の剣岳山頂だそうでルートは混むこともなく予定の時間に山頂につきました。
記念写真などとって北方稜線に入ります。踏み後がほとんど無いのでルートを探しながら池ノ谷乗越、三ノ窓、小窓ノ王と進みます。途中で会った県警の山岳警備隊の人に白萩山あたりは藪漕ぎ大変だと忠告あり。小窓ノ王を過ぎるとガレの散らばる斜面に入りますが踏み後が無いので効率よく進めません。時々小石に乗って足を滑らせたり大きな石を落としたり。雪の詰まったルンゼを超えて最後の下りに入りますがここからも長い。途中 I 埼さんが見つけた水の流れをプラティパスに詰めて 14：30 小窓に到着しました。その後チンネに登りに行ったという仙人池ヒュッテの若者 2 人が通過、他は誰も来ませんでした。我々は本日はここまで。天気も良くのんびりした時間が過ぎてゆきました。

7 日。本日は池平山を越えて、できれば白萩山手前のコルまでの予定です。予定コースで旨くテントの張れるスペースがあるのは大窓と白萩山手前コルしかありません。
小窓から池平山に登るには急斜面の草付きをまず約 100m ほど登らなければなりませんがルートがわかりづらいので少し明るくなって 5：30 出発しました。天候は曇り。草付きと言ってもかなり急斜面ですからロープ使用。以前は何本かの残地ロープがあった記憶があるのですが今回は途中に 1 本下がるのみで到底使えるようなものではありません。それに雨が降ってきました。予定では午前中は大丈夫と思っていたのですが登攀中では雨具を着ることも出来ずそのまま登り続けました。

3 ピッチほど登って岩棚から東の斜面に移ってルートを探しますがそれらしい踏み後もありません。不確かですが浅いルンゼ状を登ると山頂に続くと思われる尾根に出たようですがガスで何も見えないためはっきりわかりません。稜線はハイ松が茂って通れないのでGPS で位置を確認し東面の草付きをトラバースしてゆくと山頂近くの尾根の出っ張りに出ましたがここまで 4 時間以上かかってしまいました。雨も本格的になりガスで回りは見えずでこのまま進むにはかなり体力を使ってしまいそうで爺さん 2 人の気持ちもギブアップ気味。池平山山頂で今回の縦走をあきらめることにしました。

すっかり濡れてしまいましたので池の平小屋経由で営業をしている仙人池ヒュッテに向かいました。途中池の池の平小屋に寄ると小屋番の人が小屋の修理などしていましたので営業はしていないのですが休憩させてもらいました。お茶とお菓子をごちそうになりコースの話などをすると池平山頂付近は県警から危険なので誤って人が入らないように小屋で踏み後など着けないように指示が出ているそうです。池平山は小屋に続く東の尾根はなだらかですが他はどこも急斜面で山頂付近も意外と複雑。名前のような印象と全く違った山様で以前通過した時も小窓から大窓まで 1 日かかってしまいました。

休憩して少し元気を取り戻し仙人池ヒュッテに向かいました。3 時過ぎ小屋に到着。今日の泊りは我々だけのようです。早々に乾燥室の薪ストーブをつけてくれたので濡れ物は乾きましたし、ここには風呂もあるので汗を流し温まることができました。食堂で自炊、のんびり飲みタイムです。狭いテントでこの快適さは全くのぞめませんが、やはり高齢者の山旅はこうじゃなくては等、勝手な会話がすすみました。

小屋の人が今年の北方稜線は 3〜4 組のガイド山行しか通過していないと言っていましたのでルートに踏み後がないのもうなづけます。今晩も使い捨てのシーツに挟まれてぐっすり寝ることができました。

8 日。本日 6 : 30 出発。帰路ですが一旦三ノ窓出会いまで下って劔沢を真砂小沢ロッジまで歩き、そこから高度差 1100m の登りがありますから結構なアルバイトです。真砂沢ロッジからは雪渓と斜面の夏道を交互しながら長次郎出会いまで進みますが出会いにはもう大きな穴が開いておりこれからの長次郎の登りは怪しそうです。やっと劔沢小屋に到着。今夜はここに泊まろうかと思いましたが基本予約した人のみだそうでしばらく待ったら対応できるかも、と言ってくれましたがあきらめて室堂を目指すことにしました。

やっと、やっとで室堂に着くとキャンプ場はどこも濡れていてあまりテントを張る気もおきません。それにキャンプ場事務所ではビールなどの販売もないので飲んべいはもうひと頑張りして雷鳥荘に泊まることに。雷鳥荘 17 : 30 到着。空いていてのんびりできました。ここは山小屋というより宿ですから温泉につかりビールを飲んで自炊部屋でのお酒も進みました。ベットの 8 人部屋ですが 4 人での使用でした。

9 日。2 日続いた雨も上がりました。まだあまり人のいない室堂を 1 番発のバスに乗って立山駅に向かいましたが下るにつれて蒸し暑さを感じてきました。

今回は私にとっては最後の北方稜線縦走になったようです。何日も荷物を担いでのきつい山行は難しくなったようです。でも 1 埼さんは久々の剣岳を快晴の中登れましたし池平山までは歩けたので 2 人で夏を楽しんだことでは十分な山行でした。

M 上記